

はせおおやとやぐらぐん
かまくらじょう

長谷大谷やぐら群

(鎌倉市No.146)

鎌倉城

(鎌倉市No.146)

調査期間

20081001～20081105
20081106～20081125

所在地

鎌倉市長谷
鎌倉市十二所

時代

中世



作成日:20090619

概要

この2遺跡は、神奈川県藤沢土木事務所による鎌倉市内急傾斜地崩壊対策工事に伴う事前の発掘調査として行われました。

長谷大谷やぐら群ではやぐら1基の調査を行い、玄室・羨道・前庭を有していることが分かりました。中世に造営が開始されたと考えられるこのやぐらは、造営開始からあまり時間を置かず、天井が大きく崩落し、廃絶してしまったと推測されます。やぐら内からはかわらけ、国産・舶載陶磁器、瓦、木製品など種類豊富な遺物が多量に出土しました。遺物は割れたなどして使用されなくなった後、やぐら内に投げ捨てられた可能性があります。

鎌倉城ではやぐら1基の調査を行いました。開口部は後世に大きく削平され、やぐら本来の状況を確認することができませんでした。中世に造営が開始されたと考えられる本やぐらは、近現代になっても使用されていたと考えられ、床面や壁面にはその痕跡が残っていました。近現代の具体的な用途については分かっていませんが、時代は変わっても使用され続けていたやぐらであるといえるでしょう。



▲やぐら完掘状況(長谷大谷やぐら群)



▲やぐら完掘状況(鎌倉城)